

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援キャンパス		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 9日		2025年 10月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 9日		2025年 10月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所では、毎回の療育後に保護者様とのフィードバックの時間を設け、丁寧な情報共有を行っています。この積み重ねが信頼関係を深め、家庭と連携した質の高い支援につながっていることが大きな強みです。	定期的なペアレントトレーニングは行っていませんが、個別療育後のフィードバックを通じて、保護者様との信頼関係を築くことを大切にしています。また、小学校などでの様子についても保護者様から積極的に情報を共有していただき、支援に反映できるよう心がけています。	今後は、保護者様とのフィードバックの内容をさらに充実させるとともに、小学校など関係機関との連携を計画的に進めていきます。ご家庭や地域と連携しながら、より一層きめ細やかな支援が行える体制づくりを目指してまいります。
2	個別療育の良さを生かすため、学校での学習内容を踏まえつつ、利用者にあったプログラムの提供に努めています。	お子さまの興味関心やその日のコンディションまでしっかりと把握し、楽しい時間の中で成長していけるよう、完全オーダーメイドのプログラムを作成します。得意なところを伸ばすことにより、自信がつくことで、苦手なところにも少しずつ向き合えるようにします。	保護者様から児童の様子を聞き取りしています。その一方、学校の担任と情報共有できるようにしたいと考えています。そのために、保護者様に保育所等訪問支援サービスを利用していただくように提案してまいります。
3	当事業所は、個別療育に特化しています。担当者(原則固定)が、お子さまの発達段階に合わせた「認知学習プログラム」を言語・数・空間認知・SST(ソーシャルスキルトレーニング)などに細かく分類して、毎回作成します。	保護者さまに、学校での学習進度を伺いながら、お子さまの学習課題を見極め、国語・算数の学習を中心に、主に小学校の普通級・支援級に通われるお子さまの、学習面でのフォローに重点をおいています。放課後等デイサービスで、個別のプログラムを実施しているところはとても少ないので、大変ご好評いただいております。	個別の認知学習プログラムを作成し、対応することに注力していますので、送迎は行っておりません。保護者様にご負担もあるかとは思いますが、保護者さまと職員が、同じ目線でお子さまに寄り添うことで、より効果的な支援へつなげられると考えております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所では、利用者様お一人おひとりへの丁寧な対応を大切にしておりますが、事業所全体としての取り組みやお知らせなど、広く情報を発信する機会が少なく、十分に周知できていない面があると感じております。	現在は主に小集団療育の様子を中心に情報発信を行っておりますが、それ以外の当事業所ならではの取り組みや強みについては、まだ十分にお伝えできていない状況です。そのため、地域の皆様に当事業所の魅力や特色が伝わりにくくなっていると感じています。	今後は、発信する内容をより工夫し、これから療育施設を探される保護者様にとって有益でわかりやすい情報をお届けできるよう努めてまいります。事業所の取り組みや雰囲気伝わるよう、発信の方法や内容を見直し、より多くの方に安心していただけるよう取り組んでいきます。
2			
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援キャンパス

公表日：2026年 1月 13日

利用児童

数：9人

回収数：5人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2		3			当事業所は個別療育・小集団療育を行っており、放課後児童クラブや児童館等との交流は今のところは行っていません。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		1		当事業所はペアレント・トレーニング等を行っていませんが、毎回の療育後のフィードバックや個別支援計画のモニタリング等で、家庭での相談にも対応しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5					当事業所は、キャンパス夏まつり、キャンパス茶話会を実施しており、ご好評をいただいております。これからもこういう取り組みを継続し、さらなる保護者様の交流の機会を増やしていただけるように工夫します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5					当事業所では、小集団療育の活動内容について、定期的にInstagramで発信しています。これからも、保護者の皆さまにわかりやすく情報をお届けできるよう、工夫していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			1		これからも、お子さまと保護者の皆さまが「楽しい！また来たい！」と思えるような環境づくりに取り組むとともに、楽しみながら成長につながる療育の提供を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援キャンパス				公表日	2026年 1月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>●落ち着いた環境で学習ができるよう、スペースを区切り、職員としっかり向き合えるよう配慮しています。</li> <li>●子どもたちが集中して課題に取り組めるよう、環境づくりに努めています。</li> </ul>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者様、お子様が来所する前に使用する部屋、玄関、トイレなど確認し清潔な場所を保っている</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎日の昼の振り返りに加えて、定期的なミーティングも行き、職員全員で意見交換・情報共有等を行っています。</li> <li>●職員全員で振り返りの時間を設け、お子さまのことについても、情報共有し、話し合いをしています。</li> </ul>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三者評価は、計画的に実施します。</li> </ul>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		<p>当事業所では、職員の専門性向上を目的に、支援級の見学や発達支援センターでの研修など、社外研修に積極的に参加し、学びを日々の療育に活かしています。また、毎年実施しているアレルギー対応や身体拘束に関する社内研修では、職員間の共通理解を深め、安全で安心できる支援体制を整えています。</p>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	●個別療育の良さを活かしながら、学校の学習内容もふまえて、お子さまに合ったプログラムを提供しています。	保護者さまに、学校での学習進度を伺いながら、お子さまの学習課題を見極め、国語・算数の学習を中心に、主に小学校の普通級・支援級に通われるお子さまの、学習面でのフォローに重点をおいて
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		●毎回の療育ではお子さまの様子を確認し、次回のプログラムに活かしています。保護者の方からいただいたご意見も、すぐに反映できるよう心がけ、より良い支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		●フィードバックの際、保護者さまに学校での様子を情報共有していただいた上で、プログラムを作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		●保護者様との連携は、よくできている。一方で、自事業所以外の組織連携は、取り組みが必要だと思う。 ●今後、関係機関との連携がとれる体制が出来ていくことが望ましいと考えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	●事例がないためいいえと回答 ●学校を卒業し～では事業所内事例がないため「いいえ」とする。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		●当事業所は、個別療育と小集団療育を実施しております。小学校等との交流は、今のところ実施していません。小学校等での様子は、保護者様から情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者様との、定期的なペアトレはありませんが、個別療育後の、担当者と保護者様とのフィードバックは、保護者様支援に有効だと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		●療育後の、毎回の保護者さまとのフィードバックの時間をとても大切にしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		●今年度は、保護者の方同士が交流できる機会として、茶話会を2回開催しました。その中で、意見や情報を交換し合うことができました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	●食物アレルギー、身体拘束については、該当する機会がないため「いいえ」と回答しています。 ●食事をする場面がないため、「いいえ」と回答 ●自事業所は、飲食がない事業所です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アレルギー対応・身体拘束に関する施設内研修を定期的実施しています。</li> <li>●実例がないのでいいえと回答</li> </ul>	当事業所では、保護者様がそばで見守る環境の中、虐待や身体拘束の事例はこれまでにありません。今後も安心・安全な支援を継続するため、アレルギー対応や身体拘束に関する研修を実施し、職員間で共通認識を深めています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		